

市政 おおの

59. 11. 1
No. 420



市制30周年記念・大相撲大野場所

大徹関に人気集中

市制30周年記念大相撲大野場所は10月18日、市民グラウンドで行われました。

地元出身の大徹をはじめ、横綱大関それに巨漢の小錦らの人気力士が出場するとあって会場は朝早くから詰めかけたファン約5,000

人でにぎわいました。

午前中は幕内力士の申し合い、ぶつかりげいこなどが行われ、横綱・大関らが登場すると盛んに声援を送っていました。

一番人気はやはり大徹。サインをねだる人、赤ん坊を抱いてもら

う人、一緒にカメラに納まる人で周りはいつも黒山の人だかり。大徹もファンの声援に、にこやかにこたえていました。

午後からは、太鼓の披露、相撲甚句、幕内力士の取り組みなどがあり、満場を沸かせました。

特集 大野の林業



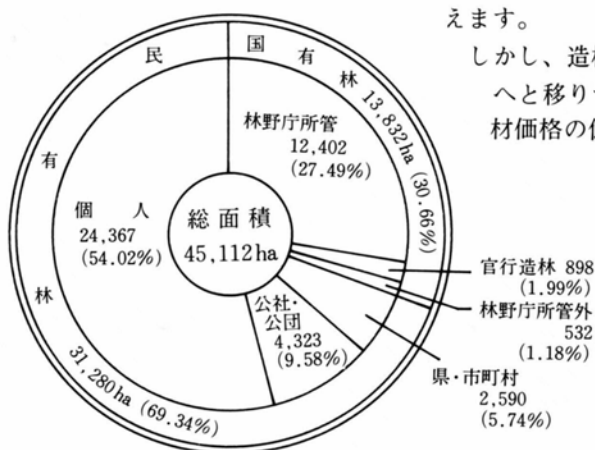
まずは表1をご覧ください。市の森林4万5,112㌔の経営形態別面積です。

民有林と国有林の比率は、ほぼ7対3です。個人によるものが2万4,367㌔(54.0%)で、過半数を占めています。

次に、森林の構成別で示したのが表2です。

人工林は、針葉樹が1万1,165㌔で、そのほとんどを占めており広葉樹はわずか490㌔です。人工林率は25.8%となっています。

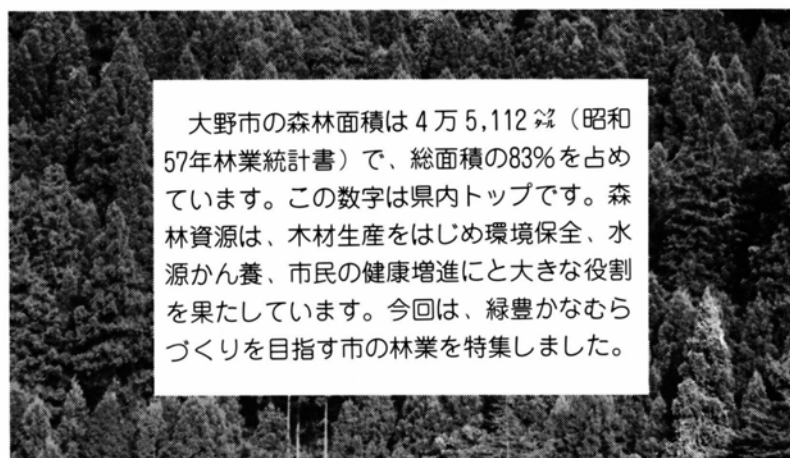
表1 経営形態別森林面積



※いずれの表も昭和57年福井県林業統計書による資料

単位：ha

表2 林野の構成	区分 形態	人工林		天然林		その他	計
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹		
	民有林	9,585	226	122	18,739	2,608	31,280
	国有林	1,580	264	108	10,825	1,055	13,832
	計	11,165	490	230	29,564	3,663	45,112



大野市の森林面積は4万5,112㌔(昭和57年林業統計書)で、総面積の83%を占めています。この数字は県内トップです。森林資源は、木材生産をはじめ環境保全、水源かん養、市民の健康増進にと大きな役割を果たしています。今回は、緑豊かなむらづくりを目指す市の林業を特集しました。

10年前の昭和47年の資料では、人工林5,976㌔、人工林率13.3%でした。毎年、着実に造林が行われていることがわかります。

近年の造林実績は表3のとおりです。無立木地や生産性の低い天然林は7割を占めており、造林可能地がまだ多く残されているといえます。

しかし、造林地が里山から奥地へと移りつつあることや、木材価格の低迷、後継者不足などの問題もあり、最近は年間200㌔台にまで下がっています。大半は森林組合による委託造林です。

市の計画では今後、59～63年に毎

年263㌔、64～68年に毎年200㌔新植し、10カ年で2,315㌔を拡大する方針です。

市有林は1,490㌔

市有林は市の財産となるものです。全部で1,490㌔あります。

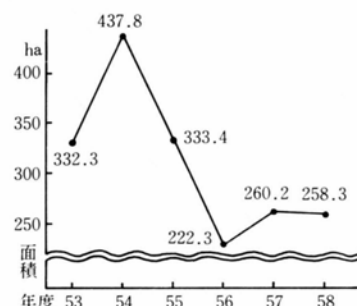
直営の市有人工林は97.4㌔で、ほとんどが西谷地区です。

分取造林は、206㌔です。収益は土地所有者4割、市6割の率で分配するものです。

市有林・分取造林とも樹齢は低く、1～30年生であるため、まだ収益は望めません。

公社・公団への貸付地は849㌔です。分取造林と同じような制度で、収益は分配されます。

表3 造林実績の推移



緑豊かで活力あるむらづくり



工事が進む仙翁谷・モッカ平線



造林にはもちろんのこと、植林後の保育や伐採、治山治水などに欠かせないのが林道です。広大な森林資源も、林道がなければ有効に利用できません。

58年度末の市の林道は、44路線総延長88.5^{キロ}となっています。このうち、自動車の通れる道は84.3^{キロ}です。

林道の普及を示すものに林道密度があります。58年度の当市の数値は2.50。国は3.60、県も3.60です。森林面積が広いこともあり、かなり遅れているといえます。

このため、市では毎年計画的に林道の開設を進めています。年平均2.8^{キロ}開設を目標としており、68年度には林道密度を3.60まで引き上げる予定です。

昨年度は1億719万円をかけ、

鬼谷線・寺月線など、4路線延長1.8^{キロ}を開設。鬼谷線は延長5.9^{キロ}となり、完成しました。

59年度も、1億1,800万円を投入5路線で工事を進めています。

新たに着手したのは、下若生子の仙翁谷・モッカ平線です。10カ年計画で延長7^{キロ}を整備します。幅員は

4^{メートル}。利用区域は631^{ヘクタール}です。事業費は4億9,000万円を見込んでおり、今年は1.3^{キロ}を手掛けています。

そのほか、継続して工事が行われているのは、寺月線・西山線・下打波線・千本杉線で、延べ1.2^{キロ}です。

舗装は、昨年度から峰越林道黒谷・河内線で進めています。2カ年で、2,000万円をかけ1.5^{キロ}を

整備しました。今後も林道の新設と並行して、既存道の改良・舗装を進めていきます。

広域林道法恩寺線

大野側の完成率は83.6%に

県施行の広域基幹林道法恩寺線の工事は順調に進んでいます。

当市の南六呂師と勝山市の暮見を結び、経ヶ岳と法恩寺山の中腹標高1,000^{メートル}付近を通ります。

総延長は26.4^{キロ}で、大野側は7.6^{キロ}あります。50年度から本格的な工事に入っており、今年度は1億1,500万円（市は1割の1,150万円を負担）で、650^{メートル}を開設しています。今年度末で、83.6%が完成する見込みです。

勝山側は48年から着工。59年度末で73%の完成率となります。

全線の開通は64年度の予定です。完成しますと、約3,200^{ヘクタール}の広大な森林資源が生かされるほか、市民の休養やレクリエーション・観光などにも活用されます。

市は人工林の間伐を進めるため、国道158号線の西勝原口わきにある通称・巢口山に展示林を設けています。杉の市有林5^{ヘクタール}で、昭和31年に1万2,500本を植栽したものです。

間伐は、45年（15年生）50年（20年生）59年（29年生）の3回実施し、現在は6,750本となっています。間伐率は46%です。

間伐は、45年（15年生）50年（20年生）59年（29年生）の3回実施し、現在は6,750本となっています。間伐率は46%です。市内の民有人工林は15～35年

間伐をお忘れなく

巢口山に展示林

生の間伐対象林が多いため、林家の参考にしてもらおうと設けられたものです。

間伐をしないでおくと、雪折れや枝枯れなどの被害を受けやすくなるうえ、木材価値も低下してしまいます。早めに間伐し豊かな山に育ててください。

明日の林業

長期的な施策を

県指導林業士

合掌 郁雄さん

(54歳 佐開)

現在の林業の状況は、寂しい限りです。行政の対応も遅れていると思います。林業は植林から伐採まで、50年ほどかかる息の長い仕事です。それだけに、長期的な施策と投資が不可欠だと思います。将来の大野の林業をどうするか、明確な方針を打ちだしてほしいものです。課題は①林道②保育③機械化です。今の林道では全然足りません。地域の利便を考えると、標高100メートルごとに1本は欲しいと思います。

大野の里山を見ると、植林はだいたい行き着いたようです。しかし、枝打ちや間伐などの保育が十分な山は、数少ない実状です。

作業で昔と変わったのは、チェーンソーと草刈り機の普及くらいでしょう。機械化・近代化が最も遅れた産業だと思います。抱負は「大野杉」と呼ばれるような優秀な木材産地にすることですネ。



ほだ木の確保が課題

しいたけ 大野椎茸振興会

松田由美津さん

(55歳 阿難祖領家)

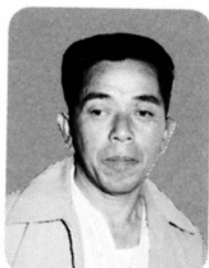
シイタケは植菌してから1年半で収穫できるので、造林と違って年々の現金収入になります。去年は豊作で、乾シイタケで2.5ト生産しました。今年は豪雪だったせいか、1.5トほどです。会員(15人)の経営規模は、ほだ木で約2,000～1万本です。

経営や品質の向上を目指してコンクールも開いているほか、毎年1回は先進地視察もしています。会の当面の目標は、乾シイタケの年間生産高5トです。

課題の第一は、ほだ木の確保です。植林が進んで原木のナラ・クスギが手に入りにくくなっています。

個人のわずかな山をほだ木植栽しても追いつきません。市有林などは、ある程度は広葉樹のまま残しておいてもらいたいです。次に、後継者の問題です。

特産品として定着させるには、若者の育成が急務だと思います。



森林組合の事業から2題

大野市森林組合(北山作右衛門組合長、組合員約2,400人)は、昭和46年2月1日、上庄・小山・阪谷・五箇の4組合が合併して発足しました。杉苗の生産・販売をはじめ、造林・保育や作業道の開設などを行っています。今回は「作業道」と「チップ工場」を取り上げました。

作業道

新たに集団化施業事業も

造林・保育・間伐などに欠かせないのが作業道です。

去年は作業路9.2キロ、間伐作業道1.7キロを整備しました。

今年も作業路10.1キロ、間伐道0.6

キロのほか、新たに県の集団化施業促進事業で作業道(3路線)を整備しています。上秋生・養道・西勝原の3カ所で、延べ2キロです。

この県単作業道は①3年間に造林と保育を5畝以上施業するか②2年間に保育を5畝以上施業するのが条件です。幅員は3メートル以下で延長は施業面積1畝当たり200メートル

以内です。工事費は県・市から65%の補助があり、林家の自己負担は35%です。来年以降、開設を希望される人は、森林組合へ申し込んでください。



西勝原の作業道

を築く人々



オウレンは大野の特産

特用林産物生産組合

久保藤士継さん

(45歳 上打波)

漢方薬に使われるオウレンは大野の特産です。55年の生産高は7,050キログラムで、県内の72%、全国の28%を占めています。一時、全国の60%以上を占めたこともありますが、各地での増産や中国からの輸入などが影響しているようです。栽培しているのは100戸ほどでほとんどが西谷と五箇です。

組合員は42人おり、56年から5カ年計画で「特用林産物振興対策事業」によるオウレン畑づくりに努めています。60年までに、新植30畝と保育42畝を行います。総事業費は約6,000万円です。

オウレンは新植してから収穫までに、10～15年かかります。今は市場の安値が定着していて厳しい状況だけに、国・市の補助（55%）は大助かりです。将来への基礎固めという気持ちで頑張っています。

今後は、共同出荷もしたいですね。



過疎対策にワサビ

堂嶋生産森林組合

福田 甚光さん

(61歳 堂嶋)

市内のワサビ栽培者は30人ほどで、しかもほとんどが上・下打波地区の人です。その打波と、桃ノ木峠を挟んで表裏の関係にあるのが堂嶋・金山です。気象も似ていますし、冷たい水も豊富なので、きっと栽培できると思い、56年から組合で着手しています。

58年からは、3カ年計画の「林産集落振興対策事業」に指定されて真剣に取り組んでいます。事業費1,141万円で、ワサビ田1,000平方メートルをつくります。

土壌や水利状態などが微妙に影響し、いろいろと苦心を重ねましたが、〝奥多摩方式〟を採用してようやく軌道に乗り出しました。58・59年で600平方メートルが完成。うち100平方メートル分は、来年には待望の初収穫となります。

成功すれば、過疎対策の決め手となるだけに、大いに期待しています。

チップ工場

毎月800トンを出荷



チップ工場は56年12月、国・県市の補助を受けて、総事業費1億5,850万円で完成しました。

造林の地ごしらえの際など、かなりの雑木が伐採されますが、そ

のまま放置されるケースも多いため有効利用を図ろうと建設されました。

国道158号線バイパス沿いの吉にあり、工場は鉄骨平屋建て819平方メートル、事務所は81平方メートル。2,894平方メートルの敷地と、1万1,700平方メートルの貯木場があります。

原木はまず製材されて、用材とチップ用に選別、チップ材は皮をむいてから。チップパー機に運ばれます。そこで細かく切断されたチップは、規格別にふるい分けてから出荷されます。

57年は絶乾チップ5,769トン、加工材228立方メートルを生産。58年は、7,334トン、201立方メートルという実績です。

現在、月平均で約1,500トンの原木を処理し、800トンのチップを出荷しています。

一般の林家の持ち込みも受け付けていますので、ご利用ください。買い受け価格など詳しいことは直接、チップ工場（5-6324）へお尋ねください。



熱気に包まれた大相撲大野場所。1日の様子をカメラで追ってみた。



▲あちこちで市民の人気の的

大徹フーバー

大相撲大野場所



◀市長表彰を受ける大徹関



▲熱戦に魅了される観客

▼一行は越美北線で大野入り



▲堂々の横綱の土俵入り
◀相撲甚句も大好評

暴力追放や少年非行防止を訴え

カーパレードなど展開

全国防犯運動にちなみ

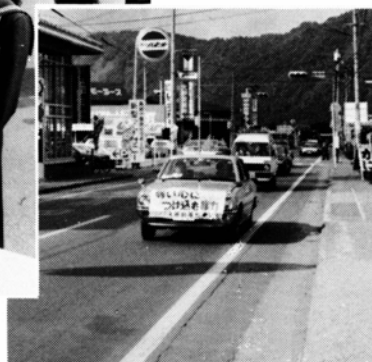
10月11日～20日の全国防犯運動にちなみ、大野地区職域防犯組合連絡協議会（兼井藤波会長）大野地区防犯隊連合会（坪井千蔵会長）大野警察署（小林富士弥署長）は10月13日、防犯ポスター・作文コンクールの表彰式と、カーパレードを行いました。

コンクールは小・中学生を対象に募集。ポスターの部 393 点、作文の部 123 点が寄せられ、審査の結果、24人が入賞しました。市長賞には、ポスターの部で杉本由紀子さん（陽明中2）作文の部で織



◀ポスター・作文の入賞者表彰式

▼カーパレード



田優子さん（開成中3）が選ばれました。

表彰式は警察署前でわれ、入賞者1人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。

その後、カーパレードに移り、職防連の会員ら約50人が22台の車に分乗。それぞれ、暴力追放や少年の非行防止、交通安全などのスローガンを書いた車幕を付け、市街地を行進して市民に理解と協力を呼び掛けました。

「職防連」とは……

職域防犯組合連絡協議会（職防連）は、建設業会・喫茶組合・料理業組合など18団体が組織。明るい社会づくりに貢献することを目的としています。各団体が互いに連絡協調を図りながら、青少年の健全育成や暴力の掃などの活動に積極的に取り組んでいます。

県身障者福祉大会に800人

自立更生者らを表彰

第30回県身体障害者福祉大会が10月12日、市民会館で開かれました。障害者の自立意欲を高めるとともに、更生援

護について県民に広く理解と協力を求めようというものです。

県内各地から身障者・ボランティア・福祉関係者など約800人が参加。

まず栗田副知事をはじめ、金井県身体障害者福祉連合会長ら

が「障害を克服しての自立更生に敬意を表します。互いに力を合わせて、福祉の充実に努めましょう」とあいさつしました。

続いて、自立更生者と更生援護功労者合わせて37人を表彰。当市からは自立更生者として、知事表彰に吉田正さん（72歳、中野町1）と児玉達旺さん（57歳、西大月）が、県身障者福祉連合会長表彰に木林守さん（68歳、下舌）と宮西梅乃さん（66歳、新庄）が選ばれました。

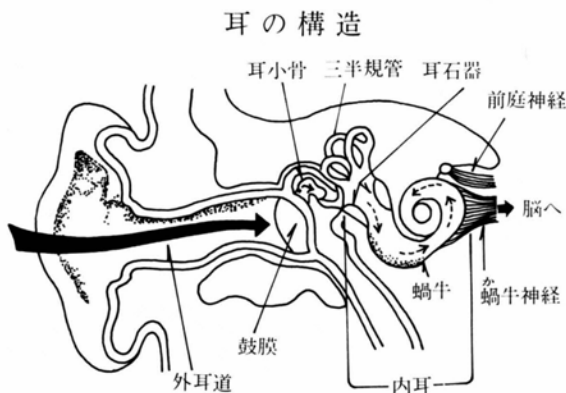
この後、来賓が祝辞。最後に、大阪南海保育専門学校講師の伊藤顕裕さんが「ふれあいの輪を広げよう」と題して講演しました。



県内の身障者が交流を深めた大会

めまいは 体の危険信号

成人病検診の間診票によると、
「めまい」の自覚症状を訴える人
が多くなっています。
一般にめまいは、内耳にある耳



石器という器官が老化して、自然
に発症することが多いようです。
そのほかに、交通事故で頭部を強
打した、騒音や爆発音にさらされ
た、中耳炎にかかったことがある
首の骨が変形している——などが
誘因として挙げられます。

深酒は禁物

飲酒者は、アルコールの影響で
小脳に委縮（体の平衡感覚が悪く

ました。中学時代に使用されたウ
ィルソンの英語リーダー、パーレ
イの「ユニバーサル ヒストリー」
や牧山耕平訳「巴来万国史」寧静
学人著「西洋夜話」などが大切に
保存されています。

信雄さんの父豊さんは、旧制第
五高等学校（熊本）教授で、西洋
史を教え、祖父、父共に大野町長
を務められました。

信雄さんもやはり学究肌で、明
治時代の貴重な聖書を集めていま
す。なかには、軽自動車か買える
くらいの高価な本も何冊もあるそ
うです。信雄さんの研究は、それ
ぞれの聖書の訳し方の相違比較で
特に接続詞の用法に関心をもって
います。プロテスタントばかりで
なく、カトリックの聖書も集め、
古い聖書は20冊以上になります。
グリフィスやヘボンの訳したもの
や、日本語訳としては最初の「約
翰福音之伝」なども持っておられ
ます。(T)

なる）が起き、老
齢になってからめ
まいがでることが
あります。しかし
この場合、心因性
のめまいもあるの
で、症状が表れた
ときはすぐに専門
医の診察を受ける
ようにしてくださ
い。飲酒の場合、
二日酔いになるよ
うな深酒は慎まし
ょう。

年に一度は検診を

中高齢者のめまいで最も注意し
なければならないのは、一過性脳
虚血発作です。これは、脳の血管
の病気である脳コウソクの前兆で
「ミニ発作」といわれ、警戒しな
ければなりません。この病気は、
40～50歳代の働き盛りの人に目立
ち、何の前触れもなしに手足のマ
ヒやめまいに見舞われます。しか
し、短時間で症状が消えるので、
ほおっておくと10人のうち2～3
人が後日、脳コウソクを起こして
いますから要注意です。

40歳を過ぎたら、年に一度は成
人病検診を受け、健康のチェック
をしましょう。

11月以降の成人病検診の日程・
会場は、市民カレンダーにその都
度記載されていますのでご覧くだ
さい。

11日～17日税を知る週間

今月の11日～17日は「税を知る
週間」です。税金は社会共通の経
費です。この機会に、税について
家族で話し合ってみましょう。

今月の納税

国民健康保険税 第3期分
30日までに納めてください。



⑧⑩天 神 町

天神町という町名は、大野市教
育委員会（旧医師会館）の近くに
ある天満神社に由来しているもの
のと思われます。

大野珠算塾横の路地を入ったと
ころに布川信雄さんの家がありま
す。祖父源兵衛さんは七間通りで
酒造業を営んでいましたが、明治
時代に旧制大野中学校の前身明倫
中学校に学び、東京にあった牛島
塾（牛島氏は大野出身）で学ばれ





使用済み乾電池を回収

1日から、要らなくなった乾電池は、市内小・中学校で回収することになりました。

私たちの大野を水銀汚染から守るため、水銀を含んでいる乾電池は一般ごみとして出さずに、家庭あるいは近所の小・中学生を通じて出してください。

ご協力をお願いします。

恩給・援護の巡回相談

軍人恩給や戦傷病者・戦没者遺族などの援護、叙位、旧軍人・軍属などに関する巡回相談が、11月12日午前9時30分～午後3時、有終会館で開かれます。疑問をお持ちの人はお気軽にどうぞ。

ご存じですか

白色申告者の記帳制度

59年度の税法改正で、事業所得等（営業・農業その他の事業所得・不動産所得、山林所得）のある人に対して記帳制度や記録保存制度、収支内訳書添付制度、総収入金額報告制度などが設けられました。

大野税務署では、これらの制度についての説明会を開きます。白色申告をされている人は、ぜひご出席ください。

〈日時〉11月6日（火）午前10時～12時、午後1時30分～3時30分

〈場所〉大野商工会館

〈講師〉北陸税理士会大野支部の税理士

里親を求めています

県では、里親・保護受託者になっていただける人を求めています。

里親制度は、家庭的に恵まれない環境にある子供を引き取り、温かい愛情と健全な家庭生活を与え、るとともに、親代わりとなって養育する制度です。

保護受託者制度は、事情により就職できない子供を預かり、職業指導など独立・自活に必要な指導を行う制度です。

詳しいことは、中央児童相談所（0776-24-6261）または、市福祉事務所（6-1111内線368）へお問い合わせください。

年賀はがきは5日に発売

昭和60年お年玉つき年賀はがきは5日（月）から発売されます。

寄付金つきはがきは45円で、絵柄は越前竹人形など3種類です。

スマイル

「問 診」

医師……めまいは？

主婦……家計簿を見るたびに起きます

お近くの郵便局、切手売りさばき所で早めにお求めください。

福井県最低賃金が改正

10月から県内の全事業所・労働者を対象とする最低賃金が改正されました。

県内で雇用する労働者に対しては、1日3,254円（時間給者は1時間407円）以上の賃金を支払わなければなりません。

この賃金には、精皆勤手当・通勤手当・家族手当、臨時に支払われる賃金、時間外・休日労働賃金などは含まれません。

詳しいことは、大野労働基準監督署（6-3838）へお問い合わせください。



薬用植物をカード化

泉町の萱岡文太郎さん

萱岡文太郎さん（78歳、泉町）は、市内で採取される薬用植物のカード化を進めています。

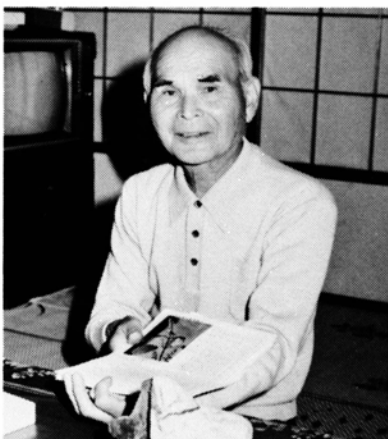
去年の7月から作業にかかり、亀山で写真撮影したキハダ・ア

カネなど約50種類をはじめ、今ではその数も330点に及んでいます。

カードには、植物のカラー写真が張っており、学名・生薬名・和名・形態・応用・効果などがきめ細かく書き込まれています。

以前から、植物の研究をしていましたが、何か社会に役立つことをと、薬草のカード化に取り組みました。薬草を病名別に整理するのに苦労したそうです。

「まだまだ不十分で、納得できるものではありません。拡大して撮り直さなければならない写真もたくさんあります。これらを整理していくのがこれからの仕事です」と話していました。



市民カレンダー

11月10日～11月24日

市の人口 10月1日現在

総 数 42,973人 (男20,685 女22,288) 10,603世帯

前月比 +19 +7 +12 ±0

10 ^土	技能の日 農林業祭	9.00～16.00	市民会館	県民手帳は今月に発売 60年版県民手帳は11月に発売されます。書店でお求めください。1冊330円です。 県内の主な統計をはじめ、交通事故の知識、消費生活のしおりなどが掲載されています。県勢を知る豆辞典としてご活用ください。	
11 ^日	世界平和記念日 農林業祭 危険物取扱者試験 ガソリンスタンド当番	9.00～16.00 9.30～	市民会館 市役所 市農協花山給油所		
12 ^月	成人病検診 援護巡回相談	9.30～11.00 9.30～15.00	保健センター 有終会館		
13 ^火	交通事故相談 金融相談	10.00～15.00 10.00～16.00	市役所 商工会議所		
14 ^水	結婚相談 行政相談	10.00～15.00 13.00～16.00	有終会館 有終会館	市役所テレホンサービス 気軽に5局8000番へ 市役所からのお知らせや、暮らしに役立つ情報が収録されています。いつでも、気軽にダイヤルしてください。 内容は、毎週月曜日に入れ替わります。	
15 ^木	七五三 心配ごと相談 交通事故相談 婦人悩みごと相談	9.00～12.00 10.00～15.00 13.00～15.00	市役所 市役所 有終会館		
16 ^金	インフルエンザ予防接種	13.30～14.30	保健センター		
17 ^土	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館		
18 ^日	家庭の日 ガソリンスタンド当番	大油屋大野口給油所		車に乗った締めよう 心とシートベルト	
19 ^月	成人病検診 胸部レントゲン 胸部レントゲン	9.30～11.00 13.00～14.00 14.30～15.30	保健センター 富島生活センター 森目小学校		
20 ^火	社会保険・年金相談 人権悩みごと相談 皮膚泌尿器科診療相談室	10.00～15.00 13.30～16.00 14.00～15.00	織物組合 有終会館 保健センター	1歳半児検診 労働相談	13.00～14.00 13.00～16.00 保健センター 商工会議所
21 ^水	結婚相談 行政相談 3歳児検診	10.00～15.00 13.00～16.00 13.00～14.30	有終会館 有終会館 保健センター	麻しん	13.30～14.30 保健センター
22 ^木	小雪 心配ごと相談	9.00～12.00	市役所		
23 ^金	勤労感謝の日				
24 ^土					

発行 福井県大野市

編集 企画広報課(電話 01111) 印刷 松浦印刷



新太郎と新婦の意志に賛同した若い友人たちが、会費制(一万円)で結婚披露宴のすべてを計画した。▼二人の結婚を心から祝おうと、親類友人九十人ほどが、市民会館に集まった。青空が広がり、さわやかな風の吹く日であった▼仲人の簡単なあいさつと祝辞も二人だけで終わると、ケーキカットもなく、すぐに披露宴に移った。テーブルには、大きめの皿に一皿ずつオードブル・すし・果物が並べられているだけである▼若いカップルがお色直しをして現れる。そろいのズボンにTシャツ姿である。テーブルを回り参加者一人ひとりの胸に、造花のバラ一輪を飾って歩く。「いいぞ」「頑張れよ」の声飛び、クラッカーが威勢よくはじけると、七色の細いテープが二人の頭上に降りかかる。お色直しは後にも先にもTシャツ一回限り▼司会もよかった。齒の浮くようなプロの名調子?ではなく、とつとつと、時にはトチツたりもした。しかしそれが巧まざる笑いを誘った▼新太郎、新婦と、友人たちの共同作業で演出された披露宴。それは温かく、つつましく、すがすがしくもあった。最近の、あのウンザリするほどの、同じパターンでの演出に乗せられただけの披露宴。後になって二人の思い出として、どちらが強く残るだろうか▼若いカップルは、さわやかな北海道へと旅立った。帰途につく参加者の両手には、重たいだけの引き出物など何一つなかった。

(D)